

志賀直哉旧居高畑サロン(2026年後期)

第91回《『源氏物語』を読む—空蝉巻(2)—》

2026年10月7日(水) 13:30~15:30 講師 鍵本有理 奈良学園大学人間教育学部准教授

平安時代に書かれた、日本の代表的な古典『源氏物語』。前期に引き続き「空蝉巻」の後半部分から、名場面を取り上げます。空蝉の代わりに軒端菝(のきばのおぎ)という女性と情を交わした源氏は、二条院に戻ってからも空蝉への思いを断ちがたく、空蝉の着ていた衣を大切に持っています。一方、空蝉は源氏からの求愛の歌に、人妻であるわが身を憂い、煩悶します。巻名の由来になっている和歌についても原文で読んでみましょう。

第92回《「高畑サロンの風景・ひとびと〜小川晴暁の写真より」》

2026年10月27日(火) 13:30~15:30 講師 小川光太郎 奈良飛鳥園社長

高畑界隈の風土を好んだ志賀直哉は奈良公園をよく散策し、そのコースにあった奈良帝室博物館(現奈良国立博物館)の北向い側に仏像写真専門店の飛鳥園がありました。飛鳥園を創業した小川晴暁は大正11年、歌人、書家であった會津八一と出会い、仏像の撮影を始めましたが、志賀はよく飛鳥園を尋ね、また小川も志賀家を訪問し、交流を深めていったようです。小川が撮った高畑サロンの記念写真など、ここに集い交流した人々や風景の写真をご紹介していきたいと思います。

第93回《高齢者の転倒予防〜脳を使って楽しく運動をしましょう〜》

2026年11月9日(月) 13:30~15:30 講師 藤田信子 奈良学園大学保健医療学部教授

働く高齢者の活躍が促進される一方、作業現場では「転倒」や「腰痛」など労働災害が増加しています。ちょっとした躓きによる「転倒」は、高齢者にとって大きな怪我を招くことに繋がります。その原因として加齢に伴って筋力やバランスが低下する以外に、脳の機能低下が関連していることがわかっています。本講座では高齢者の「転倒」の現状と原因を学ぶとともに、「転倒」を予防するための脳を使った簡単な運動を楽しく実践していただきたいと思います。

第94回《名人石工丹波佐吉の石仏—大師山と観音山》

2026年12月5日(土) 13:30~15:30 講師 磯邊ゆう 奈良学園大学特別客員教授

丹波佐吉は幕末に活躍した石工です。独特の狛犬で知られていますが、石仏も多く残しています。中でも集中しているのが奈良県宇陀市大師山四国八十八カ所石仏群(佐吉三十代後半)と三重県亀山市観音山西国三十三所巡り石仏群(推定四十代)です。この二群の石仏の細部に見られる変化から、佐吉の制作姿勢やこだわりを見て取れます。そして、観音山には究極の石仏があります。間にある大和郡山市松尾寺楊谷観音も加えて、他にない石造物を求め続けた佐吉の努力と達成について考えていこうと思います。

◆参加費	各回500円 入館料込 (奈良学園教職員、在籍者は無料です)
◆定員	各回25名(事前申込先着順) ※定員になり次第、申込を締め切ります
◆会場	志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス) 奈良市高畑町1237-2
◆申込	志賀直哉旧居(0742-26-6490) (seminar@naragakuen.jp) にお申し込みください
◆主催	学校法人奈良学園志賀直哉旧居(奈良学園セミナーハウス)



志賀直哉旧居 HP